

2023 年度 事業計画 【海の落語プロジェクト（海と日本2023）】

甲及び乙は、助成契約書第2条第2項記載の事業計画について本誌のとおりであることを確認し、これを証するため、本書の電磁的記録を作成し、甲乙が合意の後電子署名を施し、各自その電磁的記録を保管する。

事業ID 2023008377

期間 2023年04月01日 ～ 2024年03月31日

乙：

住所 〒107-0052 東京都港区
赤坂2-14-4 森崎ビル3階

団体名(国名) (一社) 日本知識士協会 (日本)

代表者 代表理事 高橋 純子

甲：

住所 〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2
(日本財団ビル)

団体名 (公財) 日本財団

代表者 会長 笹川 陽平

【目的】

全国の小中学校で落語の”笑い”を通じて海洋問題に興味を持ってもらうために、海洋ごみ問題や温暖化・気候変動、漁業資源の問題をテーマにした創作海落語を披露。また、環境専門家によるアクティブラーニングを通して海洋問題について知ってもらい、自分ごと化してもらう。さらに、イベント出演やSNS、自治体連携を通して、プロジェクトを訴求し、海落語コンテンツを多くの人に体感してもらうことで海洋問題に興味を持ってもらう。

【目標】

海落語を通じて、海に起きている環境問題について考える子供を増やす事を目的に、以下の実現を目指す。

- 全国で45回の出前授業を実施。各回60人程度、合計2,700人程度に授業を行う。
- 昨年度より多くの学校で実施するために、10以上の自治体と連携して、学校とのつながりを深める。
- 自治体や地域メディアと連携したイベントを実施する事で、波及効果を狙う。

【事業内容】

1. 海の落語の制作
 - (1) 時期：2023年4月～2023年8月
 - (2) 場所：東京都
 - (3) 内容：新規落語家を1名を追加して、新作海落語を5作品制作する
2. 出前授業の実施
 - (1) 時期：2023年5月～2024年2月（計45回）
 - (2) 場所：首都圏を中心とした小中学校
 - (3) 参加者：計2,700名程度（各60名）
3. オリジナル海落語イベントの実施
 - (1) 時期：2023年11月～2024年2月
 - (2) 場所：全国の自治体から2地域
 - (3) 参加者：計200名程度（各100名）
 - (4) 内容：海のご当地落語を創作し、披露イベントを2回実施する

【成果物】

実施報告書